



# 議会だより

発行 北海道鶴居村議会  
編集 広報調査特別委員会

子供たちの笑顔と未来のために



新年明けましておめでとう御座います



## 12月定例会

- |          |          |
|----------|----------|
| 新年の挨拶    | (P2)     |
| 決算委員会    | (P3)     |
| 定例会・議案審議 | (P4~P5)  |
| 一般質問     | (P6~P13) |
| 臨時会・委員会  | (P14)    |

- |           |       |
|-----------|-------|
| 全員協議会報告   | (P15) |
| 道内行政視察    | (P16) |
| 村内視察・議員研修 | (P17) |
| 読者の声      | (P18) |



# 賀 正



希望に満ちた新春をご家族お揃いで迎えられましたことを、謹んでお慶び申し上げます。

村民の皆様には、日頃から村議会に対しまして深いご理解と絶大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年4月に鶴居村議員選挙が行われ、3名の新人が加わり新たなる出発を致したところであります。不肖私、議員皆様のご推挙によりまして、再び鶴居村議會議長の要職に就くことになりました。

昨年を顧みますと、東日本大震災と福島第1原子力発電所の事故は、我々がかつて経験したことのない甚大な被害をもたらしました。改めて犠牲となられた方々のご冥福と一日も早い復旧、復興を強く望むものであります。

また、政府は昨年11月12日のホノルルAPEC首脳会議において、TPP交渉参加に向けた関係国との協議に入る旨を表明しました。昨年12月定例会において再度、全会一致で交渉反対の議決をしたところであります。当面の村政の課題として、エゾ鹿被害対策が挙げられております。昨年2月15日、高橋はるみ知事に直接要望する機会に恵まれましたことから、エゾ鹿駆除を強く要望したところであります。

議会としましては、地域の発展と住民福祉の向上が図られるよう、引き続き議員一同全身全霊を傾注し、取り組んでまいりますので、皆様のなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年1年、皆様がご家族共々無病息災ご多幸でありますことをお祈りし、年頭のご挨拶と致します。

## 鶴居村選挙管理委員並びに補充員

任期満了に伴い、新選挙管理委員会委員並びに補充員が下記の通りに選任されました。

任期は、平成23年12月23日から平成27年12月22日までの4年間であります。

### 選挙管理委員会委員

大島 守  
佐瀬 正人  
渡辺 巍  
相馬 寿美枝

### 選挙管理委員会補充委員

岩崎 幸市  
佐藤 邦彦  
泉 哲哉  
白田 和史



# 22年度決算 無駄は無かったか!!

平成23年11月28日に決算特別委員会を開催しました。

## 一般会計 岁出

### 総務費

問 「日本で最も美しい村」連合地域資源活用プロジェクトション委託62万円の内容は?

答 東京のコンサル会社に鶴居村のチーズなどの特産品や魅力を中心で発信する委託料です。

### 民生費

問 ほのぼのセンターサービス事業は、事業者委託金額は約3100万円ですが、

前年度と比較して金額的な変動はありますか?

答 同額推移となつております。例年11月後半くらいに委託事業者からの見積もりを徴収して査定後、議会承認を得て契約しております。

答 管内調査もしたがまだ足並みそろわざ、実情、蔓延率等を再度調査し検討。

問 インフルエンザ予防接種の児童生徒、高齢者に対する実施状況は?

答 任意接種なので100%ではないが、影響が大きいので周知を徹底します。

問 道路新設改良工事費のなかに、繰越明許費以外で597万円がまるまる不要額になつておりますが、この経緯について説明願います。

答 国の経済対策の一環として、交付金の支出があつたのですが、その交付金の中身に当初予定していた工事を割りいれる計画であつたものが、補助対象工事外だつたために、その不要額を繰り越した結果、同金額が発生いたしました。

答 6500万円繰入で、料金改定等の対策も、現在の厳しい運営状況を住民に周知してもらうことから進めていきたい。

### 衛生費

問 ふるさと創生事業の内容は?

答 兵庫県への中学生派遣事業と地域づくり指導者・人材育成事業を行っています。基金残高は約5600万円です。

### 土木費

問 サービスマーケット事業者として、行政スタッフ配置や業務確認のために、どのような工夫がされておりますか?

答 職員会議については、不定期ではありますがケアーリングを行つて事業推進を行つております。

答 実際にには広域救急医療の中にへりの運行回数も含めた負担金が発生しています。誠に申し訳ありません。

問 国保税の未収金が発生していますが、どのような対策を講じているのか。これについて説明願います。

答 一時的に高額の納付金額になつてしまい家計を圧迫してしまう現状があります。

答 不測の事態にも備えての基金積立であるが、取り崩しにより保険料が軽減化される側面もあります。

### 農業集落排水事業特別会計

問 鶴居村環境基金の内容は?

答 平成22年度は温泉民宿施設に対する支援で、通算で5件、支援業者はそれれ健闘と認識している。

### 商工費

問 起業家支援事業の内容及び実績は?

答 村内の体育施設の改修見込みを想定しながら利用者確保に向けて検討いたしました。

答 実際には、個別案件について相談には応じることも広報などで、より積極的に告知してまいります。

問 介護保険特別会計の用は?

答 不測の事態にも備えての基金積立であるが、取り崩しにより保険料が軽減化される側面もあります。

## 歳入

### 国民健康保険特別会計

問 官民一体となって、合宿所の誘致等のPR活動について、検討して頂きたい。

答 年4回納付の現状で、なつてしまい家計を圧迫してしまった現状があります。

### 一般会計

問 農業集落排水事業への一般会計繰入金及び健全運

行について、どのように考えているのか。

答 6500万円繰入で、料金改定等の対策も、現在の厳しい運営状況を住民に周知してもらうことから進めていきたい。

- 答 総合計画を基本にして、3種の臨時措置のワクチン接種の継続は?
- 答 行について、どの様に考えているのか。
- 答 毎年の施策の中で基本計画

- 答 土木費
- 問 農業集落排水事業特別会計
- 問 農業集落排水事業への一般会計繰入金及び健全運



平成23年12月15日・16日

# 12月定例会

諸般報告 議長  
一般質問 8名

行政報告 村長・教育長  
議案等審議 16件

## 諸般報告

松井議長より、11月16日開催の第55回町村議会議長会全国大会並びに、11月25日開催の釧路町村議会研修会（P16参照）そして、12月1日開催されました釧路町村議会議長会定例会の報告がなされました。

また、台湾プロモーションについては、各議員に報告書が提出されました。

### 釧路町村議会議長会定例会

釧路町村議会議長会監事に、標茶町平川議長、理事に釧路町橋口議長を選出致しました。

### 釧路広域連合議会11月定例会

釧路広域連合議会副議長に坂本裕人議員を選出し、その後「平成23年度一般会計補正予算・パークゴルフ場の指定管理者指定・平成22年度決算認定」の件は、原案の通りに可決承認されました。

### 釧路北部消防事務組合議会臨時会

損害補償の専決処分の報告がなされた後、「給与条例の改正・一般会計補正予算」の件は、原案の通りに可決承認されました。

### 釧路公立大学事務組合議会12月定例会

平成22年度会計決算認定及び平成23年度会計補正予算の件、また退職手当基金条例の承認、監査委員の選任の件は、原案の通りに可決承認されました。



鶴居村の観光PRをしました

## 行政報告

日野浦村長より、9月17日開催の「消防技能競技大会」、赤井川村で開催された「日本で最も美しい村連合総会」、「台湾プロモーション」そして、村内で開催されました「ふるさと祭り」・「村政懇談会」また、「チーズコンテストでの受賞」の報告がなされました。

## 教育行政報告

国安教育長より、平成23年度全国学力・学習状況調査について報告がありました。

本村においては、対象となっている「小学6年生 17名」「中学3年生 31名」が参加を致しました。

基礎学力が定着してと言う判断がされておりますが、今回は中間発表で御座いますので、来年最終発表が出ましたらあらためて報告いたします。



# 議案審議

## 認定

●平成22年度鶴居村各会計歳入歳出決算（詳細はP 3参照）

今定例会で委員長の報告がされ、本会議において認定されました。

## 選挙

●鶴居村選挙管理委員および同補充員（詳細はP 2参照）

4名の選挙管理委員及び4名の補充員が全会一致で決まりました。（任期は4年）

## 補正予算

●平成23年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1,640万円を追加し、総額40億998万2千円とする。

おもに住民基本台帳法、介護保険法の改正に係るシステム導入費用です。

●平成23年度水道特別会計補正予算

人事院勧告に基づき人件費8万円を追加し、総額4,038万円とする。

●平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算

人事院勧告に基づき人件費10万1千円を追加し、総額8,450万1千円とする。

●平成23年度国民健康保険特別会計補正予算

療養給付費の確定、システム改修委託など479万円を追加し、総額3億5,323万3千円とする。

●平成23年度診療所特別会計補正予算

患者の増加による新たな薬品購入費など516万6千円を追加し、総額8,686万6千円とする。

●平成23年度介護保険特別会計補正予算

高額介護サービス費102万円を追加し、総額2億5,841万9千円とする。

●平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算

住民基本台帳法の改正に係るシステム導入費用98万1千円を追加し、総額2,512万8千円とする。

すな<sup>答</sup>外委する帳<sup>問</sup>る件療<sup>答</sup>て<sup>7</sup><sub>0</sub>圓<sup>問</sup>すがにワイン<sup>答</sup>く<sup>?</sup>正の<sup>問</sup>廣く<sup>?</sup>新聞<sup>答</sup>は?<sup>?</sup>会を<sup>の間</sup>つるい広報<sup>?</sup>宇<sup>宙</sup>飛<sup>行</sup>士<sup>?</sup>  
く<sup>?</sup>の<sup>?</sup>託<sup>?</sup>シ<sup>?</sup>の<sup>?</sup>業<sup>?</sup>は<sup>?</sup>ス<sup>?</sup>法<sup>?</sup>住<sup>?</sup>め<sup>?</sup>ど<sup>?</sup>数<sup>?</sup>昨<sup>?</sup>の<sup>?</sup>8<sup>?</sup>圓<sup>?</sup>収入<sup>?</sup>が<sup>?</sup>  
民<sup>?</sup>国<sup>?</sup>業<sup>?</sup>は<sup>?</sup>ス<sup>?</sup>法<sup>?</sup>住<sup>?</sup>め<sup>?</sup>ど<sup>?</sup>数<sup>?</sup>昨<sup>?</sup>の<sup>?</sup>8<sup>?</sup>圓<sup>?</sup>収入<sup>?</sup>が<sup>?</sup>  
間<sup>?</sup>保<sup>?</sup>者<sup>?</sup>國<sup>?</sup>テ<sup>?</sup>改<sup>?</sup>民<sup>?</sup>で<sup>?</sup>増<sup>?</sup>が<sup>?</sup>年<sup>?</sup>は<sup>?</sup>4<sup>?</sup>圓<sup>?</sup>増<sup>?</sup>え<sup>?</sup>  
業<sup>?</sup>連<sup>?</sup>？<sup>?</sup>保<sup>?</sup>ム<sup>?</sup>改<sup>?</sup>基<sup>?</sup>す<sup>?</sup>え<sup>?</sup>4<sup>?</sup>よ<sup>?</sup>?  
者<sup>?</sup>で<sup>?</sup>は<sup>?</sup>以<sup>?</sup>修<sup>?</sup>よ<sup>?</sup>台<sup>?</sup>い<sup>?</sup>0<sup>?</sup>診<sup>?</sup>

質疑

(松井洋和)

## 意見書

☆環太平洋経済連携協定に反対する意見書

○提出者 佐藤吉人

- ・地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについて十分な情報提供すること
- ・提供した情報を基に国民的な議論を行うこと
- ・道民・国民の合意のないまま、関税撤廃を原則とする環太平洋経済連携協定には参加しないこと

☆V P Dワクチンに関し、早期に国の制度確立を求める意見書

○提出者 及川満浩

- ・子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについては、定期接種までの臨時促進事業を維持すること
- ・高齢者に対する肺炎球菌ワクチンを含むV P Dに対する公費定期接種の継続及び拡大を図ること
- ・安心して平等に受けられる予防接種体制を確立すること

注) V P D : ワクチンで予防できる病気のこと



# 一般質問

## 村政のここが聞きたい 8人の議員が14項目の質問

質問・答弁とともに要旨要約して掲載しました

私はこのことは非常に大  
きく、周辺市町村の状況を見て判  
断するとの答弁でした。

度以降の対応については、次年  
員会の答弁において、次年  
周辺市町村の状況を見て判  
断するとの答弁でした。

子宮頸がん予防ワクチン等の3種（ヒブ、小児用肺炎球菌）のワクチン接種継続は、国の平成22年度補正予算により、平成23年度末までの时限措置として助成措置が講じられ、これを受け本村においても対象者に無料接種を実施してきたと  
ころです。

しかし先日の決算特別委員会の答弁において、次年周辺市町村の状況を見て判斷するとの答弁でした。

**武藤議員**



大切なことであり、住民の健康を守る観点からも、他の自治体がどうであれ、本村においては次年度以降も、無料接種を継続すべきと思いますが、この点について、理事者の考え方伺います。

**日野浦村長**

村としては今後の国の動向を注視しつつ、予防接種事業を推進したいと考えては、来年度が村長選の年でもあり、選挙後に判断されるものと考えています。



痛いけど我慢しますから…

**子宮頸がん予防ワクチン等の3種の無料接種継続を！**

**予防接種事業は推進したいが最終判断は村長選挙後に！**

## 傍聴席

今回は、いつも傍聴に来て頂いております1名の方のみで御座いました。

**次回定例会は3月9日～16日までの予定です。**

「24年予算特別委員会」もこの会期中に行われますので、是非、議会に足をお運び頂き傍聴されます事をお願い致します。



## 酪樂館の今後の運営は

### 現在の運営形態を維持



松井廣道議員

段も上を目指すことが必要であると思いますが、村長の考え方を伺います。

また、次の事柄も伺います。

- ①製造方法と販路拡大
- ②新商品の開発と今後のアピール方法
- ③商品の知名度アップとの対策

### 第8回チーズコンテストで3回連続の受賞をした酪樂館の製品は高い評価を頂き、村にとって大きな戦力となってきました。



課題も期待も大きい酪樂館

されました。技術力に裏打ちされた高品質の製品づくりに努めています。

①製造室は乳製品と肉製品の2部屋体制となっており、乳製品室は1か月前からの予約開始で、体験回数や数量に制限を設けています。

そして本来の加工体験としての役割は一定程度果たしており、現在の運営形態を維持していきたい。

また、製造方法も当面現在の体制を維持する中で需要の動向等を見極めたい。

②現在、酪樂館では7種類を製造・販売しています。それぞれの商品が高い評価を受け、広く認知されつつあります。

また、チーズ工房があり、その地域や風土に根ざしたクオリティーの高い製品を仕上げております。

厳しい状況下にある消費社会とどのように対応し、打ち勝っていくのか考えを伺います。

チーズ製造と研修施設でもあり、同じ製造ラインでの不満は数多く聞きます。

さらに飛躍をし、1段も2

段も上を目指すことが必要であると思いますが、村長の考え方を伺います。

日野浦村長

### 酪樂館が全国準最高賞

「鶴居シルバーラベル」で2回連続



おいしいチーズ うちのが一番!!

【写真】村崎公社 代表取締役 鈴木 一也  
（鶴居シルバーラベル）

受賞を励みとして、今後も絶え間ない努力と製造技術の向上をめざし、ますます鶴居村の牛乳の名を高め、本場のヨーロッパの国々まで販路を広げることができたら幸いで

す。

3期連続受賞の高い評価を受け、酪樂館の安定した技術力と、その高さが証明

### 製造者は語る



小山田 愛さん

このような中で、まずは現在の安定した技術力と高い品質を維持していきます。なお、現在業務用を視野に入れたフレッシュユータイプの製造・販売も検討しています。

③販路拡大やアピール方法、知名度アップ等の営業活動は、酪樂館のホームページの充実やイベントへの参加活動等を積極的に行うと共に、釧路市、札幌圏、首都圏へも販路を求めていきます。

また、今年度から観光協会が選任事務局体制となり、会員活動にも積極的に参加される中で、チーズの商業活動にもご尽力いただいている片山先輩や、上司や同僚が、皆で努力してきました結果だと感じております。

また、常日頃からご指導いただいている片山先輩や、上司や同僚が、皆で努力してきました結果だと感じております。

チーズ工房があり、その地域や風土に根ざしたクオリティーの高い製品を仕上げております。

鈴根地域には数多くのチーズ工房があり、その地域や風土に根ざしたクオリティーの高い製品を仕上げております。

その様な中での今回の受賞を励みとして、今後も絶え間ない努力と製造技術の向上をめざし、ますます鶴居村の牛乳の名



## エゾ鹿被害対策は！

駆除活動を優先して行いたい！



秋里議員

一方捕獲数においては、

前年の12%増の11万頭となつたが、生息数の抑制に必要な目標捕獲数には2万40

00頭不足し、この様に農作物等に対する被害が増加し、エゾ鹿が減らない状況です。

エゾ鹿被害対策については、村政懇談会で、各地域から対策を求める声が聞かれました。それだけ事態が深刻になっていることだと思います。

先月北海道のエゾ鹿対策室から、平成22年度の状況

が発表され、農林業の被害額は前年の17%増の59億円にもなり、そのうち牧草が

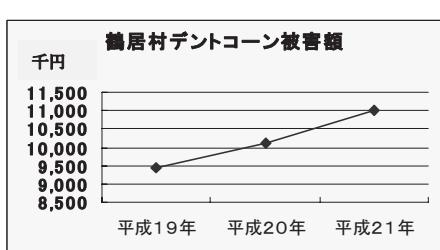
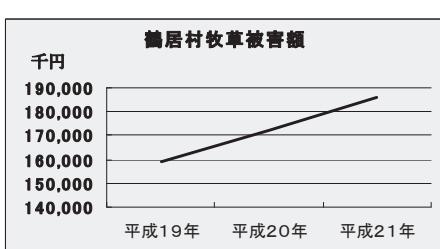
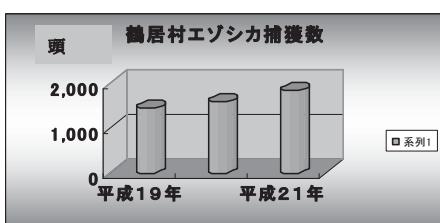
28億4600万円で約半分を占め、地域別の被害額では釧路管内がトップとなっています。

③北海道の行った越冬地調査の結果

④食害から作物を守るための電牧の敷設は、大きな効果が期待できます。エゾ鹿を減らす対策と合わせ、電牧設置に対して、

村の助成について

## 日野浦村長



右肩上がりも自慢できず

万円、デントコーンが11  
00万円で合計1億970

0万円であります。また3  
年前からの推移については  
平均値で約8%ずつの増加

傾向となっております。

総捕獲数でありますがこ  
こ3年間の総捕獲数（有害

駆除+狩猟）は平成19年度

で、生息数を40万頭以下と  
する目標値を設定しました。

25万頭を減らすためには、  
自然増殖分を考慮すると、  
年間15万頭を捕獲する必要

があります。

越冬地調査についてです  
が、全道で668箇所確認

されています直近3年間の平均で  
牧草の被害が1億8600

があります。

村内の食害状況につきま  
しては直近3年間の平均で  
著呂地区で2箇所、下久

温根内地区で2箇所、下久

牧草の被害が1箇所となっ  
ています。

され、その中で鶴居村では  
温根内地区で2箇所、下久

新播草地に対しての一部  
助成についての必要性は理解

しています。

新播草地に対しての一部  
助成についての必要性は理解

しています。

新播草地に対しての一部  
助成についての必要性は理解

しています。

新播草地に対しての一部  
助成についての必要性は理解

しています。

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました

電牧設置への助成につい  
てですが、面積が広大なこ  
とや、電牧の下草の除去な  
ど適切に管理されなければ  
効果に大きな差が生じるの  
も事実であります。また、

設置圃場内の作物の食害は  
ある程度阻止できると思いま  
すが、根本的な解決策に  
つながるものでないと考え

ます。村としては適正な生  
息数を目指した駆除活動を  
優先して取り組んで参りました



## 村政懇談会の開催時間および方法の検討を

参加者減や女性の参加増は検討課題



日野浦村長

佐藤議員

私は、今年の懇談会では5地区で聴講させていただきました。しかしながら開催時間や開催方法について疑問を感じましたので質問いたします。

村政懇談会で村民の方々と直接会って話し合う場を設けることは、共に村づくりする上で重要なものと考えております。しかし参加



村政懇談会も変革の時代

者の減少や女性参加者の少ないのは現実なので、今後の村政懇談会のあり方等の中で検討いたします。

## 移住・定住促進策は

魅力ある村づくりを推進

佐藤議員

道内行政視察で厚沢部町にて研修させていただきました。同町では「素敵な過疎づくり株式会社」を設立して専従職員による各種呼び込み誘致運動をしており

ます。そこで本村でも下雪裡地区にあるファームインも得ながら「日本でもっと美しい村」の魅力ある村づくりを進めます。

平成20年度以降、村有住宅利用者で本村へ移住された女性もあり、今後、移住体験に効果があると考えます。今後も鶴居村の特徴を生かしつつソフト&ハードの両施策を行い各種団体の協力も得ながら「日本でもっと美しい村」の魅力ある村

住宅入口だけウェーブができるような作業方法ができないのか伺います。



お願いします もうちょっと

日野浦村長

## 住宅入口の取付道 路除雪の改善を

改善を指導

特に郊外での作業では大型作業機で行っているため小回りが利かないこともあります。

本格的な雪の季節となり早朝から生活路線の除雪作業をされております事に感謝申し上げます。しかし除雪の際に一般家庭の入口にウェーブ状に雪が残ります。

そこで重機除雪の場合に

いたしました。

本村にとつて移住・定住

鶴居村議会だより No.132



## TPP参加による本村への影響は

**断固、正式参加阻止に向け関係団体と連携**



日野浦村長

東議員

3月11日の東日本大震災、福島第1原子力発電所の事故の影響が解消されない中で、民主党政権は突如TPP交渉参加を表明しました。

日本の農業、特に本村の基幹産業である酪農が今後どのように進んでいくのか予想もつきません。村長はこれららの問題をどのように受け止め、またどのような対応を考えておられるのか伺います。

現在の酪農畜産を取り巻く状況は、原発事故の風評被害による肉牛価格の低迷や昨年の猛暑の影響を引きずる形での生乳生産の伸び悩みが続くなど厳しい経営環境にあります。

またTPPに関しましては、対象分野は物品貿易に限らず非関税障壁を含めた包括的な協定であり、単に農業分野に限った問題ではありません。

北海道の品目別試算の影響率をもとに本村での影響額を算出しますと酪農家戸数で77%減少し、88戸から20戸に減少することとなります。このような厳しい事態が想定されるにもかかわらず、十分な議論や対策も尽

くされないままに協議入りすることは本村としては誠に遺憾であり、今後も断固、正式参加阻止に向け関係団体との連携を密にし、歩調を合わせた対応を取ってまいりたいと思います。



TPP断固反対（釧路新聞社提供）

## 中幌呂高台から下雪裡の除雪実施を！

**現時点では困難**

東議員

この道路の利用者は多く、特に授精師、獣医師等は下雪裡線の除雪を要望しています。この路線の除雪を行って貰えないと村長の考えを伺います。

日野浦村長

この区間の除雪については以前にも除雪の要望がありましたが、急勾配、急カーブで危険なため除雪を見合させた経緯があります。利便性や事故の両面を総合的に判断しても、事故の危険性が拭い去れないため除雪をすることは難しいと考えております。



除雪が望まれる村道中幌呂下雪裡線



**震災廃棄物の受入  
れ要請の対応は**

「受入れ不可」と回答、  
今後も受け入れない！



**日野浦村長**

ある場合の村の対応を伺い

ます。

4月13日に北海道より受け入れ処理へ協力依頼がありました。

その際廃棄物処理法では、「放射性物質及びこれに汚染したものは除く」との規定があることから、

処理場の処理能力を考慮して一定の条件を付して不燃ごみで年間70トンの受け入れ可能と回答しました。

**及川議員**

国・環境省は昨年4月、東日本大震災により発生した災害廃棄物は広域処理が必要だとして全国の市町村に廃棄物の受け入れについて打診を行いました。

また8月国会にて、放射線汚染レベルの低い廃棄物を、一般廃棄物とみなし広域的に処理できる法案を成立させました。

このことに対する回答内容は住民に対して「情報公開」と「説明責任」があると考えます。よってその経過、また今後同様の要請がない姿勢で対応したい。

今後同様の要請がある場合は住民に対して「情報公表の対応方針ですが、安全性に対する不安を払しょくできません。そのため一切受入れし

及川議員

「子ども・子育て新システム」の対応は  
制度が具体化してから検討！

政府の少子化対策会議が、「子ども・子育て新システム基本制度要綱」にもとづき、法案を提出、引き続き審議されていますが、この新制度は保護者、子どもに

対し負担を強い、行政の責任が大きく後退した内容です。



引き続きのごみの減量を

**一般廃棄物最終処理場の運用状況は**

2年程度の受入れ延長が可能！



熟考を要する震災ごみ

**日野浦村長**

引き続き責任を持つ「子育て・保育事業」を維持、推進することを要求するものであります。以上伺います。

「子ども・子育て新システム」は6月に検討会議によって中間とりまとめを行っています。

その細詳については、市町村に提示されておらず、また決定されてないことから、

村としては「子ども・子育て新システム」が具体的な形を持つた後に検討したいと考えております。

なお、子育て支援は重要な施策の一つであり、保育

所運営や子育てサポート制度などを引き続き実施してまいりたいと考えております。

一般廃棄物最終処理場は平成18年度からは不燃物のみが処分されており、概ね2年程度の延長を見込んでいます。

**日野浦村長**

一般廃棄物最終処理場は埋立期間の中間年度來ていますが、期間延長望める状況です。どの程度延長が望めるのか伺います。

**及川議員**



## 婚活事業への支援を

情報の提供など検討したい



日野浦村長

吉田議員

国勢調査の確報では村の人口は2,627人となり前回平成17年より45人下回る結果となりました。

このことは離農者、就労の場の減少、少子化などが大きな要因であると想います。

そこで「少子化対策」についてであります。結婚を無視して「少子化対策」は進みません。村内の若者は鶴居発の婚活事業として新たな支援策を検討できなか村長の考えを伺います。

村が実施しております結婚対策事業は農業後継者を対象としたものであり、これに対し一部支援を行っています。

村内の若者全般にわたる婚活事業につきましては、現在専門知識を兼ね備えた

民間事業者等におきまして、幅広く多種多様な活動が行わされております。これらの機会を積極的に有効利用していただき、よい出会いを見つけていただくことが望ましい形であり、村は直接的な支援は難しいところでありますが、関係情報の提供などを検討してまいります。



ロタウイルス

吉田議員

## ロタワクチン接種への対応は

### 接種推進の指導を待ち検討



いい出会い 新しい縁

ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防するワクチンの国内販売と接種の始まりが

報道されました。

冬から春にかけ乳幼児を

中心に流行し、ほぼ全ての

子供が5歳までに罹り、そ

の症状は嘔吐、下痢、発熱

などです。本年7月に国内

承認されたばかりで、予防

接種法に基づく定期接種で

はなく、費用は全額自己負

担になり1回の接種で1万

本村としては、関係指導機関からの指導を待ち検討したい。



接種検討中のワクチン

数千円の負担で、2回接種となるようです。  
この対応について村長の考え方を伺います。

日野浦村長

本年7月に厚労省が承認した新ワクチンであり、症状や費用はご指摘の通りです。12月5日現在、道内では2町村が実施見込みで、他の市町村は関係指導機関からの接種推進の指導がないことや、接種によるリスクも、接種症例508例中、接種後30日間で下痢等が72例報告されていることなど例報告されていることなどにより、実施に至つていいものと思われます。

本村としては、関係指導機関からの指導を待ち検討



## 次期村長選の出馬について

「村民全てが豊かで暮らしやすい村」を目指す  
検証がなされてるのか、「酪農・観光(商工業)・福祉・協働」についてお伺いいたします。  
そして、次期村長選挙への出馬について村長のお考えを伺い致します。



大津議員

平成16年にスタートしました日野浦村政も、来年5月で2期目の任期満了となります。

1期目は、「身の丈にあつた行政改革」をテーマに、健全財政の安定化に努められ、2期目は、特に自ら手懸けた第4次総合計画のスタートであり、正真正銘の日野浦村政の幕開けとなつたところがありました。

残り4ヶ月ほどあります  
が村長が掲げた公約として、毎年掲げられていた村政執行の検証について、どの様な

日野浦村長

平成16年にスタートしました日野浦村政も、来年5月で2期目の任期満了となります。

1期目は、「身の丈にあつた行政改革」をテーマに、健全財政の安定化に努められ、2期目は、特に自ら手懸けた第4次総合計画のスタートであり、正真正銘の日野浦村政の幕開けとなつたところがありました。

境と調和した産業の振興と快適な生活環境の整備については、糞尿の適切な管理と処理施設の整備等、各種制度を利用して取り組んで

まいりました。  
また、下幌呂・支雪裡のミニティーセンターについても整備が出来たところです。

機関と連携をとりながら地域産業を守り育てるため力を注いでいきます。

機関と連携をとりながら地  
域産業を守り育てるため力  
を注いでいきます。

「協働レポート」は、  
今回はページの都合で、  
次回に掲載をさせて頂きます。

まいりました。  
また、下幌呂・支雪裡のミニティーセンターについても整備が出来たところです。

選挙への出馬については、  
去る12月上旬に後援会より  
次期村長選への出馬要請がありましたが、ご質問の次期村長

選挙への出馬については、  
去る12月上旬に後援会より  
次期村長選への出馬要請がありましたが、ご質問の次期村長



夜もキラッと光る鶴居村

次に2期目の私のスロー

ガーンは「小さくてもキラつと輝く活力に満ちた村づくり組み、現在の健全財政を持出来たと思っております。

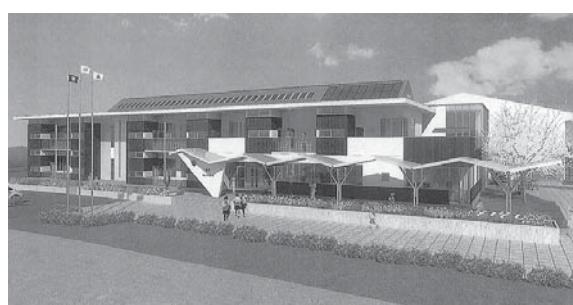
第4次総合計画の着実な推進を図りながら、「基幹産業の育成では、チーズなどの製造販売を開始し、第6回のオールジャパンチーズコンテストでは、最優秀賞を受賞をし、豊かな自然環境と調和した産業の振興と快適な生活環境の整備についても、糞尿の適切な管理と処理施設の整備等、各種制度を利用して取り組んで

具体化してまいりましたが、これからも意欲のある方々との連携、協力を得ながら、「村民すべてが豊かで暮らしやすい村」を目指す覚悟であります。

これからも意欲のある方々との連携、協力を得ながら、「村民すべてが豊かで暮らしやすい村」を目指す覚悟であります。



力強く立起表明



鶴居小学校完成予想図

内容は、鶴居小学校の改築工事も始まりますし、教育行政報告でもありました様に、23年度の全国学力・学習調査の結果も年明けには発表されますので、教育長はじめ学校関係者の方々と座談会を開催し、その報告をさせて頂きます。



## ( ) 臨 時 会 ( )

### 第4回臨時会 11月7日開催（議案審議1件）

●平成23年度一般会計補正予算

プレミアム商品券事業700万円を追加補正し、総額39億9,358万2千円とする。

○賛成討論（武藤議員）：地元商店活性化に寄与することを期待し、今後も商工会と一体となって取り組んで欲しい。

### 第5回臨時会 11月28日開催（議案審議2件）

●鶴居村一般職員給与条例の一部を改正する条例の制定

●鶴居村一般職員給与条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定

9月の人事院勧告に基づき、おもに40歳代以上の職員の月給が平均0.23%引き下げとなります。

問 今年度の本村の影響額は？

答 1人当たりの減額幅は月額600～2,100円となり、合計で61万円程度と予想している。

## ( ) 委 員 会 報 告 ( )

●総務常任委員会

12月16日に総務常任委員会を開催しました。主に議会改革について協議し、今後も継続して議会改革について協議していきます。

1月18日に総務常任委員会を開催しました。来年度の道外視察研修の研修先について協議しました。

●産業常任委員会

12月16日に産業常任委員会を開催しました。来年度の道外視察研修の研修先について協議しました。

●議会運営委員会

12月8日に議会運営委員会を開催しました。12月定例会の日程等について協議しました。

## 議員が参加した諸行事

●村政懇談会（10月20日～11月9日）

各地域で村政懇談会が開催され、多くの議員も参加し地域の課題を勉強しました。なかでもエゾ鹿やカラスなど野生動物の被害対策についての質問が多く、今後皆さんとともに問題解決に努めています。

●鶴居小学校100周年記念式典（11月5日）

鶴居小学校100周年記念式典および祝賀会が関係者及び議員多数出席のもと盛大に開催されました。

●鶴居消防出初め式（1月5日）

鶴居消防出初め式が各消防団、関係者及び議員多数出席のもと厳かに開催されました。

(松井洋和)



陰で支えた歴代校長・PTA会長



寒さ以上に張り詰めた緊張感



## 全員協議会報告

### ●10月24日 プレミアム商品券事業

日野浦村長から今年度のプレミアム商品券事業についての説明を受けました。地域の活性化や住民サービスなどの幅広い角度から色々な意見交換を行いました。



村民の期待の大きい心温まるプレミアム商品券

### ●11月 7日 議会改革

さらに住民の皆様に信頼され、より良い鶴居村へ共に進んでいく議会のあり方などについて真剣な議論をしました。今後さらに議論を重ねてより良い議会にします。

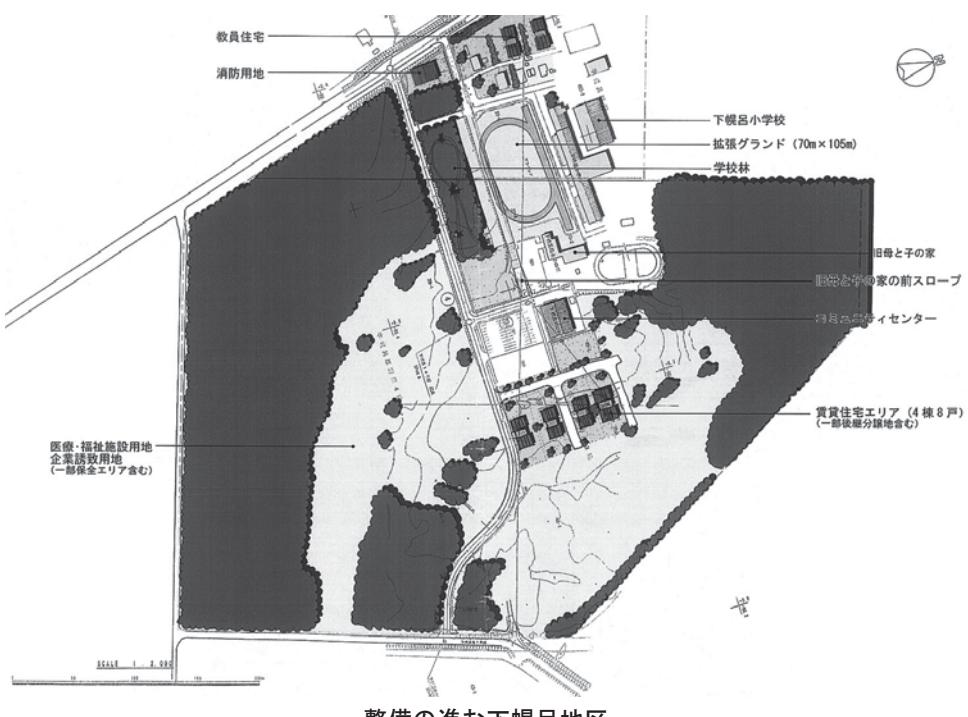
### ●12月15日 鶴居小学校改築実施設計

国安教育長から鶴居小学校の改築工事、給食施設、仮校舎について説明を受けました。主に各施設や工事日程について議論しました。仮校舎はファミリースポーツセンターを一部改修、プレハブ棟建設。新校舎完成は平成25年12月末を予定しています。

### ●12月15日 下幌呂公共用地基本計画

大石振興課長から下幌呂の村有地（コミュニティセンター周辺）の利用計画について説明を受けました。現時点では賃貸住宅の建設や企業誘致などを計画しています。

(松井洋和)



整備の進む下幌呂地区



## 「視察・研修」活動報告

### 道内行政視察

10月25～28日の4日間、

當の困難さは同様であり、  
本村においても今後の重要な課題となることを再確認しました。

道内行政視察研修を行い、

続く27日に厚沢部町において移住・定住推進事業の

郡厚沢部町における「ちょっと暮らし」と「素敵な過疎づくり株式会社」事業、

事業説明及び施設見学を行いました。この事業は国の緊急雇用対策補助金を利用し、ソフト・ハード両面に

おいて短期間で高い成果及排水及び合併浄化槽整備事業についてそれぞれ研修してまいりました。

てまことに、26日に壮瞥町において下水道事業の研修を行いました。本村の事業とは公

費と私費、官と民の考え方が対照的であり、それぞれ利点、問題点があり考えされました。特にPFI手法は導入自治体が少なく興味をひかれました。

しかし過疎地という人口密度の低い地域での事業運

ととなりました。



厚沢部町鈴木議長



壮瞥町松本議長

### 道内行政視察に 参加して

#### 参考

上記日程で本年度の議員道内研修に1年生議員として初めて参加させていただきました。産業常任委員会

の所管調査では胆振管内壮瞥町、総務常任委員会の所管調査では檜山管内厚沢部町で研修させていただきました。両町とも鶴居村とは

管理運営方式が微妙に違うので、その部分の聴講する事が出来て有益でした。

研修では国のモデル事業で設置した住宅等の見学や今後の移住促進について同町の考え方などをお聞きいたしました。

今回得られた知識や知見を参考にして、自分もさらに研鑽を深めて鶴居村の発展に寄与できたらと思います。

(佐藤吉人)



真剣な研修風景

住・定住に関して同町独自の「素敵な過疎づくり株式会社」を設立して誘致や呼び込みを同社が専門的に行ない、職員も行政出向者1名と3名の移住者自らが同社の正式社員として活動しているそうです。

研修では国のモデル事業で設置した住宅等の見学や今後の移住促進について同町の考え方などをお聞きいたしました。



鶴居村の場合は補助金を受け設置し、その後の管理費用は個人負担です。

それから厚沢部町では移



（及川満浩）

夢の杜団地第3期分譲地と国営総合農地防災事業は事業継続中であります。他の事業は無事完了し、現地及び車内において説明を受け終了しました。



第3期分譲も任せてください

平成23年11月7日臨時会に先立ち鶴居村主要施設視察が行われ、内容は平成23年度に施工された5事業について村長はじめ役場職員とともに視察しました。



村民プール視察

最初に下幌呂夢の杜団地第3期分譲地造成工事現場を、その後作業道宮島支線、雪裡地区）、地域優良賃貸住宅（鶴居東地区）、村民プールを視察しました。

夢の杜団地第3期分譲地と国営総合農地防災事業は事業継続中であります。他の事業は無事完了し、現地及び車内において説明を受け終了しました。

**村内の事業の進捗状況を確認しました！**

### 主要施設視察

## 震災の教訓と釧路総合振興局の重点施策を研修！

### 釧路管内町村議員研修



NHK大津放送局長



村井総合振興局長

当日は西風が大変強く寒い一日でした。釧路町村議會議長会会長である、本村の松井宏志議長から「有意義な研修になるように」と挨拶があり研修開始となりました。

次に釧路総合振興局、局长村井悟さんから、釧路地域の自然環境や産業構造の説明があり、地域の抱える長所と短所について主觀を交えながらの説明の後、平成24年度の釧路総合振興局の重要な施策として①自然環境を生かした観光の推進、

②エゾ鹿適正管理と有効活用の推進、③地域防災と安全のまちづくりをあげておりました。具体的には道東型エコツアーや振興、釧路

震災からの教訓」でした。随所に映像を入れた講演で、

ブランドの統一性の確立、災害の伝達システムの構築を挙げておりました。続いてNHK釧路放送局、局長の大津久幸さんの講演で「NHKの災害報道」で「N・H・Kの災害報道」として「自分の命・安全は自ら守る」を肝に命じて「助ける人になる事」を力説しておられました。

（佐藤吉人）

議員諸氏も身を乗り出して傾聴しておりました。



## 村議会の動き

平成23年

10月25日～28日

道内視察(壮瞥町・厚沢部町)

11月5日 鶴小100周年記念式典

7日 第4回臨時会

村内主要施設視察

全員協議会

10月18日～11月9日

村政懇談会

14日～16日

全国議長大会(東京)

15日 広域連合議会定例会

18日 北部消防議会臨時会

25日 管内議員研修会(白糠)

28日 第5回臨時会

決算特別委員会

12月1日～2日

釧路町村議会定例会(弟子屈)

8日 議会運営委員会

15日・16日

12月定例会

16日 全員協議会

産業委員会

総務委員会

23日 広報委員会

25日 広報委員会

26日 釧路公立大学議会定例会

平成24年

1月5日 出初式

6日 広報委員会

12日 広報委員会

18日 総務委員会

**議会だよりに対する  
ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい!!**

議会事務局

TEL (0154) 64-2116

メールアドレス

Turuimura21@yahoo.co.jp

委 委 副 委 委 員 員 員 員  
委 委 員 員 員 員 員 員  
員 員 員 員 員 員 員 員  
松 井 及 川 佐 藤 大 津 泰  
洋 和 满 浩 吉 人 泰 則  
**広報調査特別委員会**

## 輝く街づくりを目指して

小野繁則



私は鶴居村商工会に転勤してきてから、女性部と青年部を担当させて頂き、早5年目となりました。

女性部の主要事業は役場前の花壇整備であり、一年を通しての花壇の構成、花の手配をし草取り・苗植え等会員の協力で、活発な活動が出来ており評判も良いようです。

青年部の事業も年間を通してイベントに参加して、鶴居チーズを使った「ピザボール」の開発・販売等活発なものであります。

鶴居のチーズは美味しいと評判ですし、少しは認知されてきた事もあり販売も好調で売り切れになることもあります。

又、冬には役場前にイルミネーションを飾り少しでも冬期間、街を華やかにと事業を進めてはおりますが、飾り付け方法や演出方法などまだ検討の余地が多くあると反省する点もあります。

女性部・青年部共に会員数に限りがありますが、異業種との交流を深め会員の方との連携も強め、今後も商工会としてのつとめ「街の活性化」を目指し、更なる事業展開していきたいと思っております。

最後になりますが、当商工会もプレミアム商品券事業等、行政のご協力を得て実行されているものも数多くありますので、今後も行政・関係機関と連携を深め、事業の充実を計って行きたいと思っております。その点、議会だよりは紙面も刷新され、読み易く行政や議会の活動が身近に理解できる様に工夫されており、大変参考にさせて頂いております。今後も村の将来を熱く導き、私たちにとっての正しい指針になってほしいと願います。

**編  
集  
後  
記**

新成人の君達へ  
今年成人式を迎えた皆様

は、ご両親の愛情と周囲の暖かい見守りの中で、又鶴

居村の保育・医療・奨学金等の手厚い保護を受けて大きくなりました。

20歳になつた今、大人として多くの権利や責任も生まれ、これからは自らの力で生きていく力強さや判断力も求められます。  
「自分が今あるのは誰のためか」己だけでなく、他の人に思いをはせ、社会に

貢献できる人には是非なつてもらいたいと思います。鶴居の未来を動かす若い力と情熱を、村も議会も大いに期待しております。  
(大津泰則)



価値ある『1票』を大切に